



PRESS RELEASE

岡山大学記者クラブ

文部科学記者会 御中

科学記者会

令和 4 年 11 月 30 日

岡 山 大 学

岡山大学病院で最新 CT 装置「NAEOTOM Alpha」を導入 西日本・国立大学法人では初

岡山大学病院放射線部は、フォトンカウンティング検出器（光子計数検出器）を搭載した最新 CT 装置「NAEOTOM Alpha（ネオトム アルファ）」（シーメンスヘルスケア株式会社）を導入し、2022 年 12 月 5 日より臨床検査を開始します。本装置の導入は、国内 4 台目の導入であり、西日本および国立大学法人では初の導入となります。

NAEOTOM Alpha と従来の CT 装置の違いは、検査部位を透過してきた X 線光子の総数を積算し画像化する従来の検出器の構造に対し、NAEOTOM Alpha の検出器には多数の半導体素子が使用され、検査部位を透過してきた X 線光子の強度ごとの個数を計数し、画像化することが可能となりました。この革新的な検出器の技術は、従来の CT 装置の欠点である放射線による被ばくの低減をはじめ、より精細な CT 画像の撮影、さらに検査で使用する造影剤の低減など多くのメリットが期待されています。また、通常の CT 装置では X 線管（電圧や電流をかけて X 線を発生するための機構）と検出部は 1 対ですが、NAEOTOM Alpha は 2 対有しており、撮影時間の短縮や、広範囲の撮影にも適した構造となっています。さらに、本装置には最新の AI 技術を駆使した多くの機能が搭載されており、3D カメラによる自動位置決めによる検査の最適化、タブレット端末を活用した検査効率の向上なども期待されています。

岡山大学病院では本装置を含め 5 台の特色ある CT 装置を保有しており、引き続き最適な CT 検査が実施できるよう努めてまいります。

つきましては、下記のとおり報道機関向けのお披露目・質疑応答の場を設けますので、ご参集ください。

- 1 日 時 令和 4 年 12 月 2 日（金）17:00～
- 2 場 所 岡山大学病院 総合診療棟西棟 5 階 第 13 カンファレンスルーム
※質疑応答の後、1 階の X 線 CT 室に移動して、撮影いただけます。
- 3 出席者 平木 隆夫 岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）放射線医学 教授
本田 貢 岡山大学病院 医療技術部 部長
荒川 泰一郎 シーメンスヘルスケア（株）執行役員
CT 製品担当 シーメンスヘルスケア（株）
- 4 次 第 1) 平木教授あいさつ
2) CT 装置「NAEOTOM Alpha」の説明
3) 国立大学法人に初めて導入いただいた意義について（シーメンスヘルスケア）
4) 質疑応答



PRESS RELEASE

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、取材には必要最低限の人数でお越しいただき、必ずマスクを着用いただきますようお願いいたします。
- 添付の問診票を事前にご記入のうえ、取材時にご提出ください。
参考：【岡山大学病院《病院》への立ち入りに必要な書類】
<https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/news/detail194.html>
- 出席を希望される社は、12月1日（木）までに社名と来院人数を以下の企画・広報課までご連絡ください。

＜お問い合わせ＞込み等について】

岡山大学病院 企画・広報課

TEL 086-235-6749

メール：ouhinfo@adm.okayama-u.ac.jp

【CT装置について】

シーメンスヘルスケア（株） 丹野

